

2. 関東ブロックの目指すべき将来の姿

関東地方は、我が国の政治・経済の中核機能を擁するだけでなく、多様な自然環境や地域固有の歴史・文化を有する地域でもあり、国際的な会議やイベントなども多く開催される地域である。

このため、国内外の交流の拡大や住民・NPOなどの多様な主体による地域間の交流・連携の強化を図り、これらのポテンシャルを最大限に活かして、魅力と活力あふれる経済社会を形成することにより、我が国及び世界の経済を将来にわたってリードする。また、安全に安心して暮らせる地域、緑豊かな個性ある美しい環境といきいきとした暮らしの実現もめざすものとする。

関東ブロックの目指すべき将来の姿(10～15年後を想定)を実現するため、社会資本の整備に係る7つの重点項目と34の重点目標を設定する。

(1) 我が国及び世界の経済をリードする首都圏の機能強化と都市再生

・国際競争力・産業強化を図るため、道路、港湾、空港等の連携による人流、物流の効率性と安全性を向上し、都市基盤の広範な集積と機能分担による都市活動の円滑化・産業活動の効率化を推進することで、関東地方全体の機能再編を目指す。

(2) 北関東、西関東地域における自立した地域の創造

・北関東・西関東の地域間交流の拡大、地域の活性化を図るため、拠点都市、産業拠点、交通拠点の機能を充実し、交通ネットワークによる地域間連携軸の形成を推進することで、東京圏との密接な関係を保ちつつ自立した地域の創造を目指す。また、地域の歴史、文化等を活かした創意工夫による地域づくりを推進する。

(3) 誰もが安全・快適に暮らせる地域の実現

・地震や水害、高潮、津波など大規模な自然災害・テロ・海難に対して広範な危機管理体制の構築及び強化を図り、また、防災におけるネットワークの整備や災害に対応した対策を推進することで、安全・安心を確保する。また、誰もが安全で安心して快適に生活できる環境の実現を目指す。

(4) 個性ある美しい環境・景観の実現と循環型社会の構築

・関東地方の多様な自然を次世代に継承するため、自然環境の保全や良好な緑の創出、水環境や生態系の保全・再生・創出による水と緑のネットワーク形成を推進する。また、都市部における沿道環境の改善、美しい都市景観の創造、健全な水循環系の構築、廃棄物等のリサイクル等、循環型社会の構築を目指す。

(5) 多様な余暇・文化・観光資源の有効活用による活力ある地域の実現

・関東地方の魅力ある観光資源を住民やNPO等多様な主体の参加によって活かし、また、連携ネットワークによって、他地域との連携・交流を深めることで、広範な観光交流空間の形成を促す。また、外国人への情報発信等を積極的に行い、観光立国の実現を目指す。

(6) 人・物・情報の円滑な交流促進と地域連携の実現

・国内外の物流・交通結節点等の拠点整備や交通・情報ネットワークの構築により、関東地方全体のポテンシャルの向上を目指す。

(7) 先端的な研究の充実と生涯を通じた学習機会の確保

・先端的な研究開発と新規産業の創出を促進するため、産学官の連携・推進体制の構築、人材・情報等の交流等により、これからの成長分野を担う人材育成を図る。また、身近な自然環境や各種施設を活用することにより、生涯を通じた学習機会の確保・場の形成と活用を目指す。

〈関東地方の将来像〉

我が国及び世界の経済を将来にわたってリードしつつ、安全に安心して暮らせる地域、緑豊かな個性ある美しい環境といきいきとした暮らしの実現を目指す。

〈7つの重点項目〉

〈34の重点目標〉

(1) 我が国及び世界の経済をリードする首都圏の機能強化と都市再生

- 3つの環状道路等の整備推進
- 国内・国際拠点空港の容量拡大・アクセス改善
- 国際海上輸送の効率化
- 多核的な都市構造再編のための拠点整備
- 都市再生の実現
- 効率的・計画的な維持管理

(2) 北関東、西関東地域における自立した地域の創造

- 物流等効率化の促進
- 観光振興拠点の整備
- 中心市街地の活性化
- 基幹産業の基盤強化や流通基盤整備の支援

(3) 誰もが安全・快適に暮らせる地域の実現

- 災害の未然防止や迅速な復旧体制の構築
- 建造物の耐震化率向上、密集市街地の解消
- 災害時における、避難・災害支援・復旧活動拠点の確保
- 安全でおいしい水の確保
- 陸・海・空の交通安全性向上
- バリアフリーのまちづくり
- 美しくゆとりのある質の高い居住空間の創造
- 離島における安全快適な生活の向上

(4) 個性ある美しい環境・景観の実現と循環型社会の構築

- 自然環境の保全・再生・創出、水と緑のネットワークの形成
- 交通渋滞の緩和・都市交通の円滑化
- 美しい景観の創造
- 公共用水域等の水質改善、海域・港湾等における自然環境の保全・再生・創出
- 循環型社会の構築

(5) 多様な余暇・文化・観光資源の有効活用による活力ある地域の実現

- 観光振興拠点の整備 <再掲>
- 官民連携による魅力ある余暇・文化・観光地域の創造
- 港、河川、水辺空間の整備等による地域の活性化

(6) 人・物・情報の円滑な交流促進と地域連携の実現

- 広域的な人・物・情報の流れの円滑化
- 交通渋滞の緩和
- 交通結節点の機能強化
- 河川舟運ネットワーク整備
- IT技術の活用推進・高度な情報化社会の創造
- 離島における産業支援のための基盤の強化

(7) 先端的な研究の充実と生涯を通じた学習機会の確保

- 総合学習・自然体験等の学習機会の提供
- 先端的な研究開発・新規産業・新技術の創出